

領域	専門基礎分野	授業科目	栄養学	単位 (授業時間/時間数)	1 (28/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	非常勤講師		講師所属		

授業のねらい

食は生きる楽しみや文化や社会、経済状態にも影響を与える。したがって、看護者は生活する人として対象をとらえ、多角的に栄養に関するアセスメントを行い、援助につなげてほしい。

授業目標

栄養の基礎知識及び臨床栄養の基礎について理解する。

授業概要

1. 人間栄養学と看護
2. 栄養状態の評価・判定
 - 1) 栄養と栄養素栄養状態の評価・判定の定義と目的
 - 2) 栄養状態の評価・判定法
 - (1) 臨床診査 (2) 身体計測 (3) 臨床検査 (4) 食事調査
3. 栄養素の種類とはたらき
 - 1) 炭水化物
 - 2) 脂質
 - 3) タンパク質
 - 4) ビタミン
4. エネルギー代謝
5. 栄養素の消化・吸収
6. 栄養素の体内代謝
7. 栄養ケア・マネジメント
8. ライフステージと栄養
9. 臨床栄養
 - 1) 病院食
 - 2) 疾患別食事療法の実際
 - 3) 栄養補給法
10. 健康づくりと食品・食事・食生活

授業の進め方

講義

教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能 [3] (医学書院)

参考図書

七訂 食品成分表 2019 (女子栄養大学出版部)

評価方法

終講時 客観式テスト (100点)

試験時間は時間数に含む。